

# ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策

## ヤンバルトサカヤスデとは

ヤンバルトサカヤスデは体長2.5~3cm(成体)の台湾原産の外来生物です(写真1参照)。鹿児島県においては、平成3年に奄美大島で初めて確認されて以来、県本土まで生息域を広げ、令和8年1月までに34市町村で発生が確認されています。県外においても太平洋側を中心に、関東、東海、近畿、四国エリアで発生が確認されています。

## ヤスデの特性・人への影響

農作物や人に直接被害を与えることはありませんが、**繁殖力が強く、秋期におびただしい数で集団移動する**ため、林分付近の住宅地に多数出没し、家屋に浸入したり、ブロック塀やコンクリートの壁に定位したりするため、住民に**強い不快感を与えます**。



写真1 集団で定位する成体

## 食性と生態

落ち葉などを餌としており、本来は土壌の分解者です。**日光の当たらない暗く湿った場所を好みます**(写真2参照)。年間を通して生息は確認されていますが、冬期に交尾・産卵し、春から夏にかけて脱皮を繰り返して成体になります(写真3、4、5参照)。

**県本土では9~12月頃、奄美地域では5~6月頃と10~12月頃に集団移動による不快被害が発生**します。



写真2 発生地の生息環境



写真3 卵(腐葉土等に産卵される)



写真4 幼体

## まん延防止に必要な対策

繁殖力が強いため、**定着した個体を根絶することは困難**です。

不快被害を引き起こさないためには、住宅の周囲を定着しにくい環境にする必要があります、**環境整備と駆除を併せて行うことが重要**です。

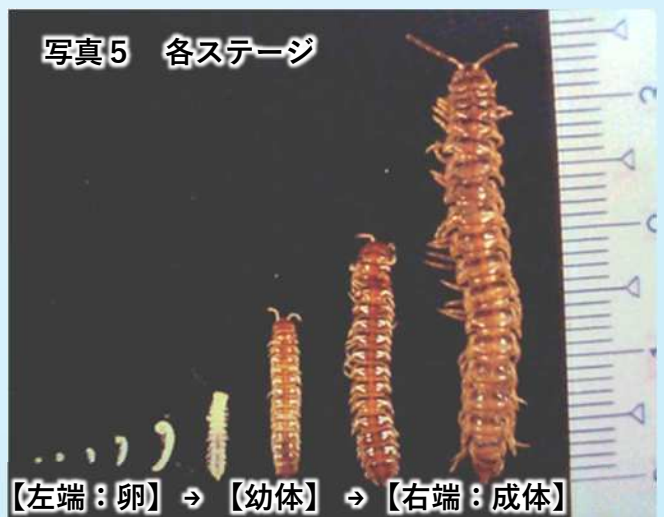


写真5 各ステージ

【左端：卵】 → 【幼体】 → 【右端：成体】

# ヤンバルトサカヤスデは、人為的要因により、生息範囲が拡大します！

## 【資材や伐採木、土、植物の移動に注意！！】

### 建設業者向け

#### 対策

- ① 工事エリアへの侵入防止対策
- ② 工事資材、伐採木、土などの移動に伴う対策

公共工事の発注に際し、設計の中に薬剤や防除資材などを組み込む必要があります。

#### ① 工事エリアへの侵入防止対策

- ・ 工事エリアの外側に粒剤タイプの薬剤を帯状に散布して侵入を防止します。
- ・ 薬剤は一定期間しか効果がありません。用法に応じて再度散布してください。
- ・ 工事が長期にわたる場合はアゼシートを用いた侵入防止対策が有効です（写真6、7参照）。  
落ち葉などをあらかじめ除去した工事エリアの境界にアゼシートを立て、その外側に粒剤タイプの薬剤を散布して侵入を防止します。
- ・ 侵入した場合は、粒剤や液剤タイプの薬剤を土の表面や資材などに散布して駆除します。



写真6 アゼシートを用いた対策



写真7 薬剤散布帯の死骸

#### ② 工事資材、伐採木、土の移動に伴う対策

##### < 工事資材の移動 >

- ・ 車両に資材を積み込む前に、液剤タイプの薬剤を資材の表面に散布します。
- ・ 車両が工事エリアを出る時にタイヤ周辺部に液剤タイプの薬剤を散布します。

##### < 伐採木の移動 >

- ・ 伐採木を一晩以上、工事現場に仮置きするとヤスデが内部に入り込むので、伐採木は即日処分場に持ち出します。仮置きする場合は予定場所にあらかじめ、粒剤タイプの薬剤を散布し、さらに、車両に積み込む前に液剤タイプの薬剤を伐採木に散布します。

##### < 土の移動 >

- ・ 12月から2月に落ち葉の下や腐葉土の中に産卵します。それらを含む土を移動させる場合は液剤を散布します。
- ・ 土を工事エリア外に移動する場合、土表面に粒剤または液剤タイプの薬剤を工事の数日前に散布し、侵入個体を駆除します。

##### < その他 >

- ・ 資材置き場や移動予定の土への侵入防止対策としてアゼシートが有効です(写真6、7参照)。

薬剤の用法・用量は各メーカーが販売する薬剤の種類によって異なります。ラベルを確認してから使用しましょう。

対策

- ① 土付きの植物移動に伴う対策
- ② 農耕資材、屋外放置資材などの移動に伴う対策
- ③ 堆肥、植物残渣などの移動に伴う対策



① 土付きの植物移動に伴う措置

- ・ 樹木の株元や根回し部の土に、ジョウロなどで薬剤を十分にしみこませます（灌注処理）。
- ・ 根回し部を藁などの資材で包んで移動する際は、包む前に土の表面に直接薬剤を灌注処理します。
- ・ 鉢物は、底部への侵入を防止するため、粒剤タイプの薬剤を鉢の下の方の土の表面に散布するなど、影になる部分に隠れる習性を利用した対策も有効です(写真8参照)。
- ・ 出荷前は、水抜き穴の中まで薬液が入るよう底部が浸かる程度に浸漬処理します(写真9参照)。



写真8 鉢底に隠れているヤスデ



写真9 鉢底の浸漬処理の様子

② 農耕資材、屋外放置資材などの移動に伴う措置

- ・ 噴霧器などを用いて液剤を全体に散布します。

③ 堆肥、植物残渣などの移動に伴う対策

植物残渣とは・・・  
生産過程で発生する植物由来の廃棄物のことを指します。

< 堆肥・敷き藁置き場での対策 >

- ・ 堆肥は発酵熱により、ヤンバルトサカヤスデが集まり、増殖しやすくなります（写真10参照）。
- ・ 敷き藁は陰になり、適度な湿度もあるため好適な生息環境となります。
- ・ **堆肥や敷き藁に薬剤が入り込まないように注意します。** 2m以上離れた土の表面に粒剤タイプの薬剤を帯状に散布し、侵入を防ぎます。
- ・ **ヤンバルトサカヤスデが生息していることを確認した場合は移動を控えてください。**

< 植物残渣などの移動に関わる対策 >

- ・ 植物残渣を発生地域外に搬出する場合は、徹底した防除が必要です。
- ・ **植物残渣を堆積することは好適な生息環境を作ることになる**ので、ビニール袋やフレコンバッグに入れるなどして残渣内への侵入を防止します。

< その他の対策 >

- ・ 植物を栽培している場所や仮置きしている場所への侵入防止対策として、アゼシートが有効です。（建設業者向けの頁：写真6、7参照）



写真10 チップ堆肥に生息する多くの幼・成体と排出された糞の塊

植物残渣をまとめておいている場所や堆肥の山は集まりやすいので注意！

# ヤンバルトサカヤスデ対策に関するQ&A

## 生態に関するQ&A

Q 1 : ヤスデの寿命はどのくらいですか？

A 1 : 卵→幼体→亜成体→成体へと脱皮を繰り返して成長し、寿命は約1年～1年半です。

Q 2 : 人を咬んだり刺したりしますか？

A 2 : 落葉などを食べる分解者なので、人を咬んだり刺したりすることはありませんが、外敵から身を守るため、刺激を受けると有毒なガスや体液を放出します。ガスを吸い続けると、気分が悪くなることがあります。

Q 3 : ヤスデをバーナーで焼いたり、お湯をかけて駆除しても良いですか？

A 3 : A 2 と同様、焼いたりお湯をかけたりすると、有毒なガスを放出しますので、絶対に行わないでください。

## 薬剤防除に関するQ&A

Q 1 : 薬剤はどこで入手できますか？また、購入に際して補助がありますか？

A 1 : 事業者向けの補助はありません。購入先は各自治体へお問い合わせください。

Q 2 : 薬剤の効果はどのくらい持続しますか？

A 2 : 薬剤によって異なりますが、2週間程度とされています。使用場所や天候など条件により変化するため、状況をみて次の散布時期を判断してください。

Q 3 : ヤスデが薬剤に触れてからどのくらいで死にますか？

A 3 : 薬剤の付着度合いにより異なりますが、数分から数十分で麻痺が起きて動けなくなります。翌朝になるとほとんどの個体が死亡します。

Q 4 : 薬剤はヤスデを誘引するのですか？

A 4 : 本対策で用いる防除剤(粉剤、微粒剤、細粒剤、液剤)に誘引物質は入っておりませんので誘引することはありません。散布部位に死骸が多く集積するのは、林分等から出てきた個体群が薬剤と接触して動けなくなり、死亡したものです。

Q 5 : 山林の斜面からヤンバルトサカヤスデが降りてくる際の対策は？

A 5 : 林道などがあれば、林道沿いにアゼシートを設置し、斜面上方側に薬剤を散布することで下方に降りていく数を大幅に抑えることができます(降雨により資材に泥はねがあった場合は、柔らかい布でふき取る必要があります)。

Q 6 : ヤスデに使う薬を畑で使ってもよいですか？

A 6 : 農耕地で使用できる薬剤は農薬登録のある薬剤のみです。農薬登録を取得していない薬剤は農耕地で使用できません。

Q 7 : 薬剤の安全な使用方法について知りたい

A 7 : 薬剤のラベルに使用方法や注意事項が記載されていますので、確認の上、記載内容に従って適切に使用してください。  
不明な点があれば販売会社にお問い合わせください。

Q 8 : 薬剤を樹木の株元などに散布しても大丈夫ですか？

A 8 : 樹木の根元に散布することはできますが、食用作物(野菜、果樹等)及びその周辺には散布できません。

詳しくはお住まいの市町村役場の環境衛生担当課  
又は県廃棄物・リサイクル対策課(099-286-2594)にお問い合わせください。



鹿児島県



詳細はこちら